



eGFR値	G1 90以上	G2 89～60	G3a 59～45	G3b 44～30	G4 29～15	G5 15未満
腎臓のはたらきの程度	正常	軽度低下	軽度～中等度低下	中等度～高度低下	高度低下	末期腎不全
治療の目安		生活改善	食事療法・薬物療法		透析・移植について考える	透析・移植の準備

血液検査や尿検査の結果、なんらかの原因で腎臓の動きが悪くなり、体内の老廃物を排出しにくくなってきています。原因を明らかにし、これ以上悪くなるのを予防するために、**かかりつけ医に相談の上**、腎臓専門医を受診しましょう。

《専門医療機関での内容》

血液・尿検査	画像検査	腎生検	生活指導	治療方針の決定
腎臓病の種類や活動性などをみる	レントゲン・腹部エコー・腹部CTなど 必要に応じて	腎炎の種類や病気の程度をみる	医師・看護師・栄養士・薬剤師などからの説明	検査結果をもとに、治療方針を決定

症状もないのに？と疑問に思われるかもしれませんが、しかし、症状が出た時にはかなり進行しており、すぐに人工透析が必要となる場合もあります。

今の腎臓の動きを保持するためには受診が必要です。



「〇〇は腎臓に良い。〇〇すると腎臓に良い。」など色々な情報が出ています。しかし、あなたにとって不適切な情報も多いので、ご自分で判断するのではなく、医師あるいは医療スタッフにご相談ください。

また、腎臓病があると、心筋梗塞や脳卒中など、腎臓以外の病気も起こりやすくなりますので、これらを防ぐために早めの対応が重要になります。

まずは、今の自分の腎臓の状態をよく知り、あなたに合った生活習慣の改善や治療で腎臓の負担を減らすことから始めましょう。

洲本市では、腎臓病の早期発見・治療のために「健診」・かかりつけ医・専門医の連携を進めています。

